

平成29年度菊間国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

10月12日（木）、菊間事業所において、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の主催による平成29年度総合防災訓練が行われました。

陸上訓練は『南海トラフを震源とする南海トラフ巨大地震（菊間町は震度6弱）が発生し、原油タンク（TK-105）の付属配管から原油（約100L）が漏洩。』、『防油堤にも亀裂が生じ、配管の応急処置と土嚢を構築する。また、サービストンネル内に取り残された所員を捜索・救出するため、工作班3名が酸素呼吸器を装着し救出する。』、『その後、原油タンク（TK-105）にてリング火災が発生、津波警報発令により全員が避難する。』との想定で、海上訓練は『地震により、TK-105の付属配管から漏洩した原油が、雨水排水溝を經由し、ガードベースンから海上に流出したため、オイルフェンスを展開し流出油の拡散防止と回収を行う。』との想定で行い、防災関係諸機関（今治西消防署菊間分署、今治海上保安部、共同防災組織、自衛防災組織、総勢約100名、訓練車両10台、船舶8隻）と連携した、緊迫感のある訓練を実施しました。



公設消防車到着



防油堤亀裂部への土嚢構築



サービストンネルからの負傷者救出・救護



タンクへの冷却散水



オイルフェンスの展張及び浮遊油の拡散



総合防災訓練終了式